



平成28年8月9日

各 位

上場会社名 大黒屋ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 小川 浩平  
 (コード番号 6993)  
 問合せ先責任者 総務部長 岩瀬 茂雄  
 (TEL 03-3448-7300)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,565	991	652	160	1.90
今回修正予想(B)	10,666	478	126	△76	△0.90
増減額(B-A)	△899	△513	△526	△236	
増減率(%)	△7.8	△51.8	△80.7	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	8,737	990	851	285	3.65

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,347	2,698	2,078	951	11.25
今回修正予想(B)	23,939	2,121	1,463	631	7.47
増減額(B-A)	△1,408	△577	△615	△320	
増減率(%)	△5.6	△21.4	△29.6	△33.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	20,165	1,755	969	99	1.28

### 修正の理由

平成29年3月期における第2四半期(累計)の業績につきましては、主要子会社である大黒屋にて円高により外国人向け免税売上が低迷しました。代わりに、利益率の低い卸売の売上のウェイトが高まっていることから売上総利益が減少し、また、本年7-9月においても円安時に購入した商品の在庫調整を継続することにより利益率の減少が見込まれ、さらに、外形標準課税の改正による租税公課等の販売管理費が増加することから営業利益が減少することが見込まれるため、経常利益、親会社株主に帰属する四半期/当期純利益も減少し、平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、英国子会社Speedloan Finance Ltdグループにおいて、ポンド安による英国での商品買取りの増加及びDaikokuya UKの1号店のオープンや英国のEU離脱後のポンド安による外人観光客の増加による販売の増加、金価格上昇による質担保価格の上昇、景気後退下での質収入の増加等が想定される場所がありますが、これらの影響は算定できないため上記の業績予想の修正には織り込んでおりません。

以 上